INNOVATOR'S GARAGE

Nagoya Topics Garage

ナゴヤ イノベーターズ ガレージ(愛称:ガレージ ナゴヤ)のスタッフが、 ガレージナゴヤの活動やイベント、そこで活躍する人々を紹介するコーナーです。



「ビヨンド ザ ボーダー 第3クール」フィールドワーク

ナゴヤイノベーターズガレージでは、中部圏におけるイ ノベーションを活発化させるため、自らの力でイノベーシ ョンを実現する人材を育成する「ビヨンドザ ボーダー」を 開催している。2019年10月より第3クールを開始し、1月15 日(水)、プログラムの一環として10年後の社会環境変化 を想像しながら、生活者の潜在的な課題や本音を掴み、 新たなビジネスにつなげるフィールドワークを名古屋市・ 栄の街中で実施した。

はじめに、「10年後の世界、2030年にはどのような社会 変化が起きているのか |をテーマに、フィールドワークの事 前講義を行った。講師は、社会変化を現段階に想像するこ とで潮目を察知しビジネスチャンスを創造していくプロセ スの重要性と、VUCA時代(変動性・不確実性・複雑性・曖 味性)に必要な3D(創造的破壊・DX・デザイン)の定義、 およびその視点の重要性を説明。ウォルマート対アマゾン の事例などをあげながら、徐々に受講者のマインドチェン ジとイノベーションへつなげる糸口を見出していった。

前述の基本的な知識の理解・深化に加え、受講者は 事前に出された「10年後に予見される未来の変化を想像 する|課題を踏まえ て、繁華街における 「新しいビジネス開 発 | の担当者として、 人々や状況を観察 してイノベーション



の種を探しに行くフィールドワークに取り組んだ。

フィールドワーク後には各チームによるプレゼンテー ションを行った。以下にその一例を紹介する。

- ①アパレルショップの前でベビーカーや購入した商品と ともに時間を潰していた父親にフォーカスしたチーム は、電車で買い物に来て荷物が多いことに着目。ペル ソナを子持ちの主婦に設定し、店から駅までの短距 離宅配サービスを考案。
- ②ある飲食店の前でメニューを見ていた女性2人が一度 は他の店に行きまた戻ってきた様子を見ていたチーム は、顧客の表情を読み取り友達に気遣うことなく メニュー看板自体が顧客の食べたいものを提案する AI看板を考案。

-ムに分かれ栄の街中でイノベーションの種を探す受講者

各チームの発表をもとに、受講者全員でさら なる顧客の深層要求となり得るユニークな発 想を展開し、活発な議論を行った。

今後は3月の新規ビジネス発表会に向けて、 共創を通じて受講者が考え抜いたビジネスモ デルを構築していくプロセスに入っていく。



イノベーターたちへの閃きクラシック

参加者:約60名

アートの創造性やひらめき、そして一人称で表現する ことの重要性はイノベーション創出と共通するものがあ る。ナゴヤ イノベーターズ ガレージでは、音楽を通じて普 段の生活とは異なる気づきを得ることを目的とし、2019 年9月に続き2回目のミュージックコンサートを開催した。 前回に引き続き、今回も愛知県立芸術大学(以下、愛知 芸大)の後援のもと、サクソフォンとクラリネット、ピアノの 若手演奏家が出演し、クラシックをはじめ、琴と尺八の合 奏曲やジャズのアンサンブルを披露した。

演奏家の3名は愛知芸大「病院アウトリーチプロジェク ト」のコーディネーターとして、芸術を必要としながらも コンサート会場に足を運べない人々へ良質な音楽を届け る活動で活躍している。今回は創造の場であるナゴヤ イノ ベーターズ ガレージ利用者の新しい発見につながるよう、

音楽の歴史やイノベーションにまつわるエピソードを交え て9曲を演奏した。作曲の固定概念をはずして新しい音楽 の開拓を試みた音楽界の異端児、E.サティのグノシエンヌ や、ジャズの影響を受けた近代のクラシック曲である、 E.シュホルフのホット・ソナタなど、珍しい楽曲も紹介 した。

参加者からは、「新たな取り組みにも挑戦されていてと ても刺激になった「「音楽に真摯に真剣に取り組む姿にと ても感銘を受けた」などの感想が寄せられた。

次回のMUSIC in the GARAGE!

2020年4月8日(水)19:00~(予定) 林 里紗 氏(フルート) Trio Canaria 廣瀬 奏子 氏(ハープ) 久永 彩加 氏(ヴァイオリン)



石川 貴憲 氏

(サクソフォン)

愛知芸大音楽学部卒業。55歳以上 男性の地域コミュニティデビューを 応援する「男のサックスカフェ」など を企画している。



中村 由加里 氏

(クラリネット)

愛知芸大音楽学部卒業。音楽アウ トリーチ団体「みぢかむじか」を立 ち上げ、音楽を通しての社会貢献を すべく、活動を展開している。



犬飼 裕哉 氏 (ピアノ)

ピアニスト/キーボーディスト 即興 演奏家。美術、ダンス、演劇など、 さまざまなアートとコラボし、多様 なコンサートを企画・演奏している。